

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町

<農場概要>

- 面積：18ha（うち有機JAS認証取得6.5ha）
- 従業員：14名（代表役員含め5名、パート9名）
- 栽培品目：米、にんじん



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 18歳の時、両親の後を継いで営農開始し、30年ほどは慣行栽培で米及びかんしょ等を生産。このままの営農を継続するか、持続可能な農業を目指していくか悩んだ末、有機栽培を行うこととし、平成20年（2008年）に有機JAS認証取得。

<販売について>

- 有機JAS認定ほ場で生産した農産物は、関東、関西を中心に、九州・県内へも出荷。
- 令和3年8月に有機米を台湾へ輸出したところ、即完売。令和4年以降、台湾やシンガポールでの新富町物産展や食のイベントに参加。

有機米の商品名「宮本」は代表者宮本氏から命名→



<飲食事業について>

- 有機農産物は全て関東・関西へ出荷していたため、「どこで買えるのか」と地元の要望があったことから、令和3年に「有機米農家おにぎり宮本」を開店。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
米のいもち病とカメ虫防除には、有機JASで使用が認められた天然鉱石を使用。
- **雑草対策**
代かきを3回行い、その後、深水管理することで雑草を抑制。冬作を行っていないほ場は、複数回耕耘し、次年度の雑草抑制。
- **土づくり**
有機ほ場は全て水田。野菜と米の輪作（2年3作）体系で、稲わらをすき込むことにより、ほ場に有機物還元。たい肥は自作でなく、有機JASで使用が認められた豚ふんを施用。

<苦労したところ>

- 有機栽培を始めた頃は、指導者もおらず栽培技術も未熟で、収量・品質が安定せず収入が少なく、営農継続困難となった。農業をやめようと考えていた頃、金融機関から融資を受けることが出来、営農を継続するうちに技術確立し、収入が安定し、現在に至る。



【お問合せ先】TEL. 090-3609-6496

ホームページ：<https://www.organicfarmzero.com/>